日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

RED CROSS NURSE Story

赤十字看護師
GUIDE BOOK

一人ひとりの「いのち」と向き合う



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社　公式HP・SNS

公式HP



人間を救うのは、人間だ。

人を救いたい。
家族や身近な人と同じように
目の前にいる人を大切にする。
そのやさしい気持ちが、
赤十字の原点である「人道」です。

災害や紛争から、人々を守る強い覚悟。
知識や経験を生かして、人々の力になる知恵。

それらを胸に、赤十字看護師は、
医療事業だけでなく、
赤十字のさまざまな事業で
人々のいのちと健康、尊厳を
守ります。



















赤十字とは

「人のいのちを尊重し、苦しみの中にいる者は、
敵味方の区別なく救う」ことを目的とし、
世界191の国と地域に広がる赤十字・赤新月社の
ネットワークを活かして活動する運動体です。

赤十字のはじまり

スイスの実業家アンリー・デュナンは1859年、イタリア統一戦争の激戦地ソルフェリーノにおいて「傷ついた兵士はもはや兵士ではない、人間である。人間同士、その尊い生命は救われなければならない」との信念のもとに救護活動を行いました。戦場において敵味方の区別なく負傷者の救護にあたることを目的とする赤十字の創設のきっかけとなりました。

日本赤十字社の使命

わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

赤十字の7原則

- 人道 Humanity
- 公平 Impartiality
- 中立 Neutrality
- 独立 Independence
- 奉仕 Voluntary Service
- 単一 Unity
- 世界性 Universality



日本赤十字社
公式キャラクター
「ハートラちゃん」

Contents

- 赤十字とは 01
- 赤十字の事業と看護
  - 国内災害救護 03
  - 救急医療 05
  - 感染症医療 07
  - 地域医療 09
  - 国際救援 11
  - 社会福祉事業 13
  - 血液事業 14
- 赤十字の看護師等養成
  - キャリア支援 15
  - 看護師等の養成 17
- 赤十字看護師 History 19
- 赤十字病院グループ 21

日本赤十字社の9つの事業

医療事業
赤十字病院を通じて、地域医療や高度医療を提供します。

看護師等の養成
看護大学・看護専門学校などを通じて、看護師等を育成します。

国内災害救護
災害時に救護班を派遣し、救援物資の配布を行います。

国際活動
海外での災害、紛争、感染症などの人道危機に対する支援を行います。

救急法等の講習
心肺蘇生法(CPR)、AEDの使い方、応急手当などを普及します。

青少年赤十字
学校教育の場で、防災や国際交流などを通じて青少年の思いやりの心を育みます。

赤十字ボランティア
災害時の支援や地域の福祉・防災など、赤十字活動を推進しています。

社会福祉事業
高齢者や障がい者など、社会的支援を必要とする人々への支援を行います。

血液事業
献血の推進と、安全な血液製剤の安定供給を担います。

国内災害救護

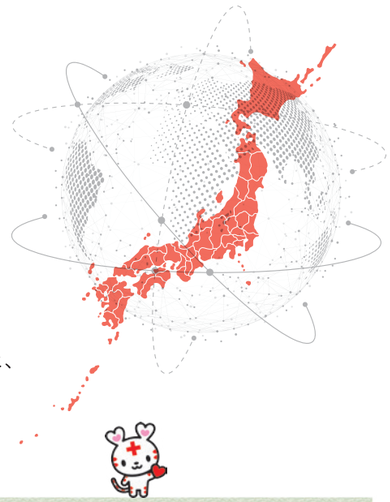
被災地に「希望」を届ける

災害発生直後からいのちと健康、尊厳を守るための救護班等の派遣や
被災者に寄り添い安心感を築くこころのケアを行っています。



■ 全国に広がる赤十字の組織力

災害時には、全国の赤十字施設のネットワークを活かして、
救護班等の派遣や救援物資の配布などの被災地支援を行っています。



■ 災害時にも活躍できる看護師に

日頃の教育・訓練で、災害発生時に臨機応変に対応できる人材を育成するしくみと、
医師や看護師で構成された救護班などの派遣体制を整えています。

■ 令和8年熊本地震の救護

発災直後から救護班等の派遣を開始し、タオルケットや安眠セット※などの救援物資を配布するなど、被災された方々のいのちと健康、尊厳を守るための活動を続けています。

職員の派遣

- 救護班
  延べ188班
- 日赤災害医療コーディネートチーム
  延べ74チーム
- こころのケア班（調整班含む）
  延べ51班

（2026年10月1日時点）



※安眠セットとは

キャンピングマット、枕、アイマスク、耳栓、スリッパ、靴下など、避難所生活での快適な睡眠をサポートするためのグッズが一袋に入っています。全国に救援物資として備蓄し、必要に応じて配布しています。



RED CROSS NURSE Story

熊本赤十字病院
看護師
Tさん

あれから10年、支えてもらった経験を支える力へ



平成28年、当時看護学生だった私は熊本地震を経験し、避難所生活をしました。そこで、お世話になった赤十字看護師の姿が今でも強く心に残っています。不安な状況の中、いのちや生活を支える姿を目にし「自分も誰かを支えられる人になりたい」と思い、赤十字病院への入社を考えるきっかけとなりました。あれから10年。令和8年熊本地震では、かつて支えてもらった自分が救護班の一員として地域の方々を支える側として、被災者支援や救護活動に参加することができました。日本赤十字社のスローガン「人間を救うのは、人間だ。」が私はすごく好きです。10年前に支えてもらった経験が、今、自分が誰かを支える力につながった喜びと感謝を感じ、そして10年後の誰かにつながればと思っています。



救急医療

いのちを救う、明日につなぐ

急な病気やケガで苦しむ人のいのちを救う、赤十字看護師。
確かな実践力と技術で、質の高い看護を提供し、不安に寄り添いながら、生きる力を支えます。



■ 公的医療機関として取り組む6事業



地域のニーズに応じて5疾病・6事業をはじめとする医療の提供体制を整えています。
同じ理念のもとに多職種がチームとなって、いのちをつないでいます。

■ 6事業とは

救急医療 急な病気やケガに、24時間体制で対応します。	**災害時における医療** 地震や台風などの災害時に、医療チームを派遣・受け入れ、被災者のいのちと健康を守ります。	**新興感染症発生・まん延時における医療** 新たな感染症が発生した際には、専門的な医療を提供し、地域での感染拡大を防ぎます。
へき地の医療 医療機関が少ない地域に出向き、住み慣れた場所で安心して暮らせるよう、支えます。	**周産期医療** 安心して妊娠・出産を迎えられるよう、お母さんと赤ちゃんを支えます。	**小児医療（小児救急医療を含む）** 子どもの病気やケガに対応し、健やかな成長を支えます。

■ 質の高い看護の提供

質の高い医療・看護を提供するために、
現場の第一線では専門看護師、
認定看護師などのスペシャリストが
リーダーシップをとって活躍しています。



RED CROSS NURSE Story

富山赤十字病院
看護師
Iさん

救急看護の経験を活かして、患者さんに寄り添う看護を



救急室で3年間勤務していました。重症患者さんを受け入れ、刻々と変化する患者さんの状態を観察し、一秒でも早く適切な治療につなげられるよう、医師や看護師など医療チーム全体で考えながら行動していました。多くの急病患者さんが搬送されるため、優先して検査・治療が必要かどうかを判断し、適切な医療につなげることを意識していました。

現在は脳神経外科・脳血管内治療科、整形外科病棟に勤務し、救急室で培ったアセスメント能力や看護技術を活かし、患者さんの変化を捉え、安全・安心な看護を提供できるよう努めています。

休日は海釣りへ！
釣った魚を自分でさばき、
料理して晩酌するのが
最高の息抜きです



感染症医療

最前線でいのちと向き合う

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命のもと、
どのような現場においても、安心安全な医療を提供します。



■感染症患者の受け入れ

感染症指定医療機関として指定を受けた施設で、
感染患者の受け入れを行い、
早期の回復を支援します。

■現場への救護班等の派遣

厚生労働省からの要請を受け、救護班等を派遣します。
不安な気持ちを抱えた方々に寄り添いながら、
救護活動にあたります。

新型コロナウイルス感染症対応

■あの時、あの場所にいたのも「日赤救護班」でした

日本赤十字社は、新型コロナウイルス感染症への対応として、横浜港に停泊したクルーズ船や、
武漢市からの帰国者一時滞在施設への救護班等の派遣など、政府からの要請に基づき、迅速に救護活動を展開しました。
なお、従事した延べ255人の職員から、感染者は発生していません。

■大型クルーズ船での救護活動



● 派遣職員数　延べ 142 人

救護班：67人
DMAT（災害派遣医療チーム）75人

乗客乗員の健康管理を目的に、2020年2月10日～3月1日の期間、救護班等を派遣。船内の主な言語は外国語であり、海外救援の経験が活かされました。

■一時滞在施設での救護活動



● 派遣職員数　延べ 113 人

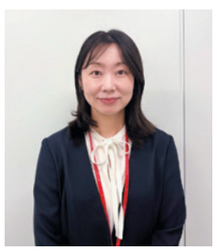
赤十字病院18施設から派遣

武漢市からのチャーター便による帰国者、クルーズ船からの下船者（PCR検査陰性）の経過観察支援のため医師等・看護師を派遣。健康相談・健康チェックなどに従事しました。

RED CROSS NURSE Story

医療事業推進本部
看護部主査
Fさん

救護員としての
赤十字看護師の使命を果たす



2020年、世界的なパンデミックとなった新型コロナウイルス感染症の発生時、私は日赤救護班の一員として大型クルーズ船に派遣されました。船内ではメディカルセンターへの支援、感染患者の容態確認等を行いました。未知の感染症への不安や恐怖もありましたが、苦しみや不安を抱える方々を思うと、赤十字看護師としての使命感に突き動かされ、自然と身体が動きました。訪室時の安心された表情は今でも忘れられません。船内では昼夜を問わず仲間と支え合いながら活動し、改めて日本赤十字社のチーム力の強さを実感しました。

この経験を糧に、赤十字の誇りを持ち人々に寄り添い、創造性を持って最善の看護を行う大切さを後輩に伝え、共に頑張っていきたいと思います。



仕事と学業の両立に
励んでいます！
勉強の合間に散歩や
カフェでリフレッシュ

地域医療

切れ目のない支援を届ける

地域の中で、住み慣れた場所で、その人らしく生きられるように、
日々の暮らしを支えています。



■医療・福祉の連携をはかる

患者さんやご家族とともに、退院後どのような支援が必要かを考えながら、
多職種と連携し、適切な支援につなげます。
また、退院後も在宅で継続して医療が受けられるように、
一人ひとりの生活に合わせたケアを行っています。



■知識と技術を普及する

日本赤十字社では、救急法、健康生活支援講習、
幼児安全法などの講習を開催しています。
日常のとっさの手当や健康増進、
自立に向けた生活に関する
知識と技術の普及に努めています。



■講習の種類

救急法
事故防止や手当の基本などについて、
知識と技術を伝える。

水上安全法
水と親しみ、水の事故から
いのちを守るための知識と技術を伝える。

雪上安全法
雪の楽しさとともに、
事故防止などの知識と技術を伝える。

健康生活支援講習
高齢期を健やかに生きるための
健康増進の知識などを伝える。

幼児安全法
乳幼児期の事故予防、
病気などの手当の知識と技術を伝える。

RED CROSS NURSE Story

福島赤十字病院
慢性心不全看護
認定看護師
Tさん

患者さんとご家族を支える「その人らしい生活」へのチームアプローチ



私は慢性心不全看護認定看護師として、患者さんやご家族の不安や生活背景に耳を傾け、多職種と連携しチーム医療のもと、その人らしい療養生活を無理なく続けられるよう支援していくことを大切にしています。

入院前から退院後の生活を見据え、患者さん、ご家族の思いをチームで共有し、切れ目のない在宅療養支援に取り組んでいます。患者さんの人生に寄り添い、病院と地域をつなぐことが私たち看護師の大切な役割だと感じています。



国際救援

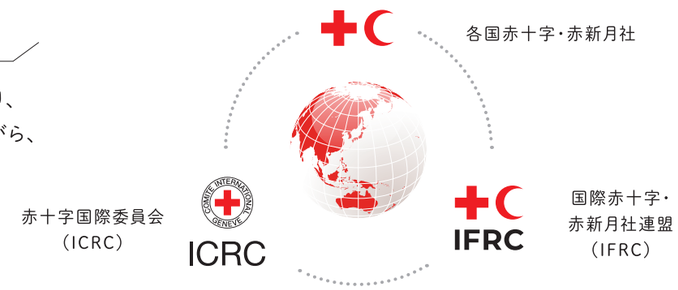
自ら立ち上がる力を引き出す

赤十字ネットワークを活かし、災害や紛争、飢餓、感染症などに苦しむ人々の
緊急時の救護や復興支援、予防活動に取り組んでいます。



■ 国際的なネットワーク

世界191の国と地域に赤十字・赤新月社があり、
それぞれの資源やノウハウ、特徴を活かしながら、
互いに連携して活動しています。



■ 国際要員の育成

赤十字が行う世界各地の人道支援活動に、
国際救援・開発協力要員を派遣しています。
日本赤十字社では、各種研修などを行い、
看護師等をはじめ多岐にわたる職種の
国際要員を育成しています。



■ 国際要員として登録するには

国際活動に必要な実践能力を段階的に身に付けられる研修を体系化しています。
英語要件：CEFR B2レベル以上が目安

eラーニング（計 約14時間）
7つの研修を受ける
- 国際救援・開発協力要員研修Ⅰ
- 安全管理研修Ⅰ　等

▶

登録研修
国際赤十字の一員として活動するための研修を受ける
- 国際救援・開発協力要員研修Ⅱ
- 保健医療ERU研修

▶

国際要員として登録
※派遣前には
安全管理研修Ⅱを
要受講

●保健医療ERU（緊急対応ユニット）とは

大規模災害等が発生した際、迅速な救援活動を可能にするための支援システム。
いつでも出動可能な専門スタッフチームと、速やかに医療支援を開始するための
資機材がセットで整備されている。

詳細は
こちらから ▶



RED CROSS NURSE Story

神戸赤十字病院
看護師
Kさん

地域の力を尊重し、地域に根付く支援を



世界には今なおさまざまな人道危機があり、保健医療の格差も残されています。一方で大変な状況の中でも自分たちで立ち上がろうとする力があります。現地に「私たちが支援を届ける」だけでなく、現地の人たちの力や思いを尊重し、課題解決に向けて共に考え、地域で持続できる支援が大切だと考えます。世界の姉妹社と協力し地域に根差した力を生かせることは、赤十字だからできる活動の一つだと感じます。

活動中、自分たちのコミュニティを守ろうとする真剣な姿や目の輝きに心を打たれることが度々あり、私自身も力をもらいました。それが国際活動に関わる原動力になっています。相手の力を尊重し共に考える姿勢は、日々の看護にも通じるものだと感じています。

年に一度は仲間と
山小屋泊の山登りを！
猫動画にも癒されています



社会福祉事業

その人らしい暮らしを支える

日々の健康状態を見守り、小さな変化に気づく。一人ひとりのニーズに寄り添い、
多職種と連携しながら、その人らしい暮らしを支えることも、看護師の大切な役割です。



■ 一人ひとりのニーズに寄り添った支援を

さまざまな事情で家庭を離れて生活する子どもや、介護を必要とする高齢者、障がいのある方などが、安心して自分らしく自立した生活を送れるよう、全国27ヶ所の社会福祉施設を運営しています。各施設では、医師、看護師、保育士、介護福祉士などの専門職が連携し、一人ひとりのニーズに寄り添った医療支援や生活支援を行っています。

日々のレクリエーションや季節の行事などを通して、笑顔あふれる心豊かな毎日を過ごせるよう支えています。

RED CROSS NURSE story

徳島赤十字ひのみね医療療育センター
看護師 Sさん

笑顔と変化に寄り添う看護師に



入職前は重症心身障害児（者）医療や療育に対する不安もありましたが、先輩方の温かい指導とサポートのおかげで安心して看護をスタートできました。当センターでは、利用者様一人ひとりの「個」を尊重し、日々の暮らしや小さな変化にじっくり向き合う看護が実践できます。表情のやわらぎや声のトーンなど、言葉を超えて気持ちが通じ合えた瞬間の喜びや、笑顔を引き出せた瞬間の喜びは格別です。

これからも専門性を高めながら、利用者様とそのご家族に寄り添い、安心と笑顔を届けられる看護師を目指して歩んでいきます。

OFF



休日の楽しみは
カフェ巡り
友達とゆっくり話す
時間が好きです

血液事業

思いといのちをつなぐリレー

看護師は、皆さまからの「献血」という大切なバトンを受け取り、
必要とする患者さんへつなぐ役割も担っています。



■ 血液製剤を必要とする患者さんのために

血液は人工的に造ることも、長期間保存することもできません。日本では、国から採血の許可を受けた日本赤十字社が、皆さまから提供いただいた血液を高精度で検査し、安全な血液製剤にします。そして、日本全国の医療機関へ安定的に届け、血液製剤などを必要とする患者さんの治療に役立てています。

献血にご協力いただく皆さまをはじめ、医療機関、国や自治体、企業、ボランティアなど、多くの人の支えによって、血液事業は成り立っています。



RED CROSS NURSE story

神奈川県赤十字血液センター
看護師 Mさん

血液事業を支える看護師として



看護師として病院で勤務した後、血液センターへ転職。採血などの技術を生かしたいという思いがありました。血液センターでは看護師だけでなく、事務職員とも連携して業務を行うため、コミュニケーションやチームワークが欠かせません。献血にご協力いただいた方に「また来たい」と思っていただけるよう、一人ひとりとの会話や関わりを大切にしています。

OFF



仕事終わりに
ビールで乾杯！
スポーツ観戦も
大好きです！

キャリア支援

育み、育まれる「赤十字看護」



日本赤十字社は、全国で90の病院を運営しています。
また、看護師を対象とした独自の能力開発プログラムなども設けており、
入職後も専門職としてさらに成長し続けられるよう、支援しています。

● 一人ひとりがキャリアを自ら開発

赤十字施設における看護の質の向上と専門職としての看護師の能力開発を目的とした、独自の「赤十字施設の看護師キャリア開発ラダー」を導入。段階ごとに到達目標を設定し、その達成に向けた教育研修を組み合わせています。職場の上司や先輩・同僚の支援を受けながら段階的にキャリア開発に取り組むことができます。

● 仲間と学び看護の可能性を広げる

全国に90ある赤十字病院間などで人事交流を行い、さまざまな現場での経験を積むことで、一人ひとりのキャリアを広げ、看護の質の向上につなげます。また、東京都渋谷区には「日本赤十字社幹部看護師研修センター」を設置。看護管理などを専門的に学び、看護師としてのさらなる成長を支えています。



キャリア開発ラダー

専門分野ラダー

	管理者	国 際	教 員
Ⅴ 卓越した看護実践ができ、医療・看護の質の向上に貢献できる 例：大学院 等	管理Ⅳ	国際Ⅳ	教員Ⅳ
	管理Ⅲ	国際Ⅲ	教員Ⅲ
Ⅳ 看護研究の実践・赤十字の推進ができる（国際救援） 看護専門職としての役割モデル 例：日本看護協会認定看護師教育 等	管理Ⅱ	国際Ⅱ	教員Ⅱ
	管理Ⅰ	国際Ⅰ	教員Ⅰ

Ⅲ 部署単位で活動できる
教育担当者・臨床実習指導者・救護班登録者（国内救護）
例：リーダーシップ研修、実地指導者研修 等

Ⅱ 自立して看護活動ができる（部署内）
例：初級リーダー、研究成果を活用した実践研修 等

Ⅰ 指導や助言を得ながら看護ができる
例：看護記録研修、看護技術（採血、静脈注射等）演習、感染管理研修、救急法、急変時対応、ストレスマネージメント 等

実践者ラダー

岡山赤十字病院 RED CROSS NURSE Story

「ここで働きたい」を叶え、今は後輩を支える立場に

●看護師（3年目） Fさん

2年目の後半から、日勤・夜勤それぞれのリーダー業務にも挑戦。習熟度に応じてさまざまな経験を積めることにやりがいを感じています。また、後輩にとって相談しやすい先輩を目指し、積極的に声をかけるなど、小さな変化にも気づけるよう心がけています。病棟は医師との連携も良く、とても働きやすい環境です。





病院行事のマラソン大会に参加！
仲間と過ごす時間で
リフレッシュ

毎日が学びと挑戦！目指す看護師へ一歩ずつ

●看護師（1年目） Mさん

配属先が手術室と聞いたときは不安でいっぱいでした。しかし、先輩方の丁寧な指導やサポートのおかげで少しずつ慣れ、現在は業務の幅も広がりました。毎日の振り返りや目標設定など教育体制も充実しています。患者さんと関わる時間は限られていますが、先輩方から学びながら、不安に寄り添い安心を届けられる看護師を目指します。



休日は
友人と遊びに出かけます
広島の花火の美しさに感動！



足利赤十字病院 RED CROSS NURSE Story

寄り添い続けてきた赤十字看護を、次の世代へ、そしてあなたへ

●看護副部長 Tさん

赤十字の看護は、長い歴史の中で、苦しむ人のそばに寄り添い続けてきた先輩たちの手によって受け継がれてきました。その思いは今も、日々の看護の中に確かに息づいています。看護管理者として、若いスタッフがその精神を自然と身につけ、患者さんに誠実に向き合う姿を見るたび、赤十字の看護は次の世代へしっかりとつながっていると感じます。

これから赤十字を目指す皆さんに伝えたいのは、最初から完璧でなくていいということです。悩みながらも目の前の患者さんに心を寄せ続けることが、やがて看護師としての確かな力になります。受け継がれてきた看護の心を、今度は皆さん自身の手で育てていってください。





仕事と趣味の
両立を目指して
初心者ですが
サックスに挑戦中です

看護師等の養成

「赤十字看護」を、問い続ける



日本赤十字社では、130年以上にわたり看護師を育ててきました。
赤十字の教育施設では、看護の知識や技術だけでなく、赤十字の7つの基本原則について
深く学び、それを自らの行動につなげる教育を行っています。
災害を想定した演習など、実践的な学びを通して、
どのような状況でも人々のいのちと健康、尊厳を守る力を身につけます。
卒業後は、赤十字病院などの医療施設をはじめ、災害救護や国際救援など、
さまざまな現場で活躍しています。



● 人道の心と看護実践力を育む

赤十字の教育施設では、
豊かな人間性を育み看護に関する幅広い能力を備え、
広く社会に貢献できる人材を育成しています。



RED CROSS NURSE Story

岡山赤十字
看護専門学校
専任教師
Kさん

看護の基礎を育み、学び続ける力を未来へつなぐ



大学卒業後、大学院や病院勤務を経て、岡山赤十字看護専門学校の小児看護学教員として着任しました。学生を送り出す際には、「まずは3年間頑張ってほしい！」という思いを込めてエールを送っています。

医療や看護は日々進歩していますが、何より大切なのは基礎知識・技術と、学び続ける姿勢だと考えています。私にとって赤十字看護とは、「どのような状況でも、あたりまえのことをあたりまえに実践すること」です。

災害時や紛争地域においても、その人らしい暮らしや日常を支える身近な存在が看護師だと思います。

子育てに奮闘！
家族と過ごす時間で
リフレッシュ



● 赤十字教育施設 （2026年9月30日現在）

現在、看護大学6校、短期大学1校、看護専門学校9校、助産師学校1校で、
看護師、助産師、保健師、介護福祉士等を養成しています。

- ■ 日本赤十字北海道看護大学
- ■ 日本赤十字東北看護大学
- ■ 日本赤十字東北看護大学介護福祉短期大学部
- ■ 日本赤十字看護大学
- ■ 日本赤十字看護大学さいたま看護学部
- ■ 日本赤十字豊田看護大学
- ■ 日本赤十字広島看護大学
- ■ 日本赤十字九州国際看護大学
- ◆ 日本赤十字社助産師学校
- ● 浦河赤十字看護専門学校
- ● 石巻赤十字看護専門学校
- ● 長岡赤十字看護専門学校
- ● 諏訪赤十字看護専門学校
- ● 大津赤十字看護専門学校
- ● 京都第一赤十字看護専門学校
- ● 京都第二赤十字看護専門学校
- ● 姫路赤十字看護専門学校
- ● 岡山赤十字看護専門学校



赤十字看護師 History

1877年、西南戦争をきっかけに誕生した日本赤十字社。
1890年に看護師養成を開始し、救護活動の歩みは戦時から災害、
平時の医療・看護へと広がってきました。
2027年、創立150周年。
時代を超えて受け継がれてきた「救いたい」という思いを、
赤十字の看護とともに未来へつないでいきます。



100年前の制定から姿を変えない、看護師の正装「救護員制服」。かつて戦時下でも命に寄り添ったこの制服は、赤十字の「人道と献身」の精神を受け継ぐ象徴として、特別な式典などで今も大切に着用されています。

1877
博愛社設立（のちの日本赤十字社）

1886
救護員（看護師）養成のため博愛社病院設立



博愛社病院の開設で日赤の医療提供と救護員養成の基礎が築かれた。

1890
看護師養成のはじまり



専門教育とともに、心のこもった看護ができるように教育を実施。

1891
濃尾地震で初の災害救護



赤十字看護師が初めて救護活動に参加。看護師派遣の第一歩となった。

1907
看護婦長養成のはじまり



看護のリーダーとなる看護人材養成のため、「救護看護婦長候補生」の教育を開始。

1923
関東大震災の救護活動



193の救護所を設け、全国の救護班やボランティアが集結し、本格的な救護活動を展開。

1940年代
第二次世界大戦期



第二次世界大戦期には看護師養成を加速させ、海外戦地に延べ3万3156人を派遣。

戦時下の赤十字救護員の体験談がこちらからご覧いただけます。

日本赤十字社 埼玉県支部
公式 YouTubeチャンネル

1985
飛行機墜落事故の救護活動



救護班を派遣し、負傷者の救護のほか遺体の検索を実施。損傷のひどい遺体を生前の姿に近づけて整復する「整体」を実施。

1995
阪神・淡路大震災の救護活動



全国から救護班が集結、延べ6000人を派遣。

2006
キャリア開発ラダーの導入



看護の質の向上と、看護職員の能力開発を支援するため、赤十字病院にキャリア開発ラダーを導入。

2011
東日本大震災の救護活動



全国の職員、世界から寄せられた救援金で、発災から半年にわたり過去最大規模の活動を展開。

2020
新型コロナウイルス感染症への対応



未曾有の新型コロナ感染症との闘いの中、最前線で対応を実施。

2027
日本赤十字社創立150周年を迎える



ごあいさつ

一緒に創ろう日赤の未来



日本赤十字社
社長
清家　篤

いま私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。少子高齢化の進展、自然災害の激甚化・頻発化、武力紛争や感染症の蔓延などにより世界各地で続く人道危機。こうした時代だからこそ、人のいのちと向き合い、支え続ける看護師の存在は、ますます重要になっています。

日本赤十字社には、150年にわたり受け継がれてきた「苦しんでいる人を救う」という揺るぎない使命があります。日赤の看護は、病院の中だけにとどまりません。高度な医療の提供はもちろんのこと、災害救護活動、地域医療への貢献、国際人道支援など、さまざまな場面でその力を発揮し、人びとのいのちと健康、そして尊厳を守っています。日赤に勤務する看護師には、そうした幅広い経験を積む機会も開かれています。

患者さんの笑顔に出会えたとき、自分の行動が誰かの支えになったと実感できたとき、人のいのちに寄り添う仕事だからこそ得られる大きな喜びと誇りがあると思います。皆さんの今抱いておられる「誰かの力になりたい」という想いは、看護師としての原点であり、未来を切り拓く力です。その想いを大切に育み、仲間とともに成長しながら、人びとに希望を届ける看護師へと羽ばたいていただきたいと願っています。

赤十字には、その想いを力に変え、自分らしく成長できる舞台があります。私たちは成長しようとする皆さんへの応援を惜しみません。そうした皆さんの応募を心よりお待ちしています。



仕事の垣根を超え、スポーツを通じて職員との交流の輪を広げています

日本全国に広がる、多様な医療のネットワーク

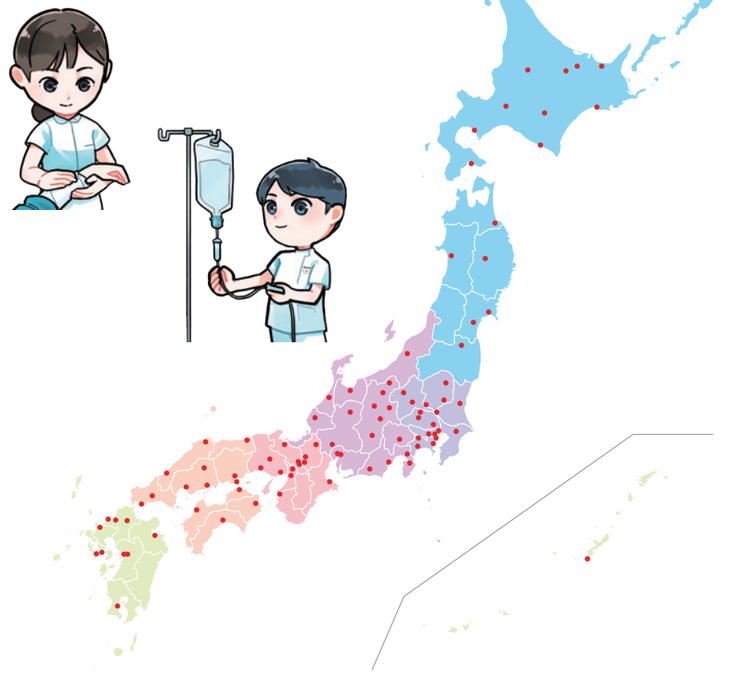
赤十字病院グループ

（2026年4月1日現在）

日本赤十字社は全国各地に医療施設を展開しており、
およそ37,000人の看護職員をはじめ、全国で約60,000人が働いています。
ほかにも、診療所や訪問看護ステーション、
社会福祉施設、教育施設、血液センターなど、
看護師として活躍できる多くの施設が日本中にあります。

各施設のホームページはこちら

救命 救命救急センター
高救 高度救命救急センター
小児 小児救急医療拠点病院
エ拠 エイズ治療拠点病院
エ協 エイズ協力病院
臓 臓器提供施設
地が 地域がん診療連携拠点病院
総周 総合周産期母子医療センター
地周 地域周産期母子医療センター
基災 基幹災害拠点病院
地災 地域災害拠点病院
地援 地域医療支援病院
特感 特定感染症指定医療機関
一感 第1種感染症指定医療機関
二感 第2種感染症指定医療機関
へ医 へき地医療拠点病院
原 原子力災害拠点病院・原子力災害医療協力機関
機 病院機能評価認定施設
老健 介護老人保健施設
介医 介護医療院
看多 看護小規模多機能居宅介護事業所
訪 訪問看護ステーション
地包 地域包括支援センター
包 地域包括ケア病棟・病床
回 回復期リハビリテーション病棟
緩 緩和ケア病棟
療 療養病床



北海道地方・東北地方

旭川赤十字病院	救命 エ拠 臓 地周 地災 地援 機 訪
伊達赤十字病院	エ協 地災 へ医 原 訪 包 療
釧路赤十字病院	小児 エ拠 総周 機 訪 包
北見赤十字病院	救命 小児 エ拠 臓 地が 地周 地災 地援 二感 へ医 機 緩
栗山赤十字病院	訪 包
浦河赤十字病院	エ協 地周 地災 二感 へ医 看多 訪 包 療
小清水赤十字病院	介医 訪 包 療
置戸赤十字病院	機 療
函館赤十字病院	包
清水赤十字病院	訪 包
八戸赤十字病院	臓 地災 地援 原 機
盛岡赤十字病院	臓 地周 地災 地援 機 緩
仙台赤十字病院	エ協 総周 地災 地援 原 機 包
石巻赤十字病院	救命 臓 地が 地周 地災 地援 二感 へ医 原 機
秋田赤十字病院	救命 エ拠 臓 地が 総周 地災 地援 機
福島赤十字病院	地災 地援 二感 原 機 訪

関東地方

水戸赤十字病院	エ拠 地周 地災 地援 二感 原 機 包 緩
古河赤十字病院	地災 地援 二感 機 包
芳賀赤十字病院	小児 エ拠 臓 地周 地災 地援 二感 へ医 機 訪 回
那須赤十字病院	救命 エ拠 臓 地が 地周 地災 地援 二感 へ医 機 訪 緩
足利赤十字病院	救命 エ拠 臓 地が 地周 地災 地援 機 回 緩
前橋赤十字病院	高救 エ拠 臓 地が 地周 基災 地援 二感 機 訪 回
原町赤十字病院	エ協 地災 二感 訪 包 療
さいたま赤十字病院	高救 エ協 臓 地が 総周 基災 地援 機
小川赤十字病院	地援 訪 包
深谷赤十字病院	救命 エ協 臓 地が 地周 地災 地援 二感 機 訪 緩
成田赤十字病院	救命 エ拠 地が 地周 地災 地援 特感 一感 二感 機
日本赤十字社医療センター	救命 エ拠 臓 地が 総周 地災 地援 二感 緩 機
武蔵野赤十字病院	救命 エ拠 臓 地が 地周 地災 地援 二感 機 訪 地包
大森赤十字病院	地災 地援 機 緩
東京かつしか赤十字母子医療センター	地周
横浜市立みなと赤十字病院	救命 小児 エ拠 臓 地が 地周 地災 地援 機 緩
秦野赤十字病院	エ拠 地災 地援 訪 包
相模原赤十字病院	エ拠 地災 訪 包

中部地方

長岡赤十字病院	救命 エ拠 臓 地が 総周 基災 地災 地援 二感 原 機 緩
富山赤十字病院	地災 地援 原 機 訪 地包 緩
金沢赤十字病院	地災 原 訪 包 回
福井赤十字病院	エ協 臓 地が 地周 地災 地援 二感 原 機 訪 緩
山梨赤十字病院	エ拠 地周 包 療
長野赤十字病院	救命 エ拠 臓 地が 地周 基災 地災 地援 機 訪
諏訪赤十字病院	救命 エ拠 地が 地周 地災 地援 機 訪
安曇野赤十字病院	地援 訪 包 回
川西赤十字病院	訪 地包 包 療
下伊那赤十字病院	介医 訪 包 療
飯山赤十字病院	へ医 訪 包 回 療
高山赤十字病院	救命 小児 エ拠 臓 地が 地周 地災 地援 へ医 老健 機 包 回
岐阜赤十字病院	地災 地援 一感 二感 機 訪 包
静岡赤十字病院	救命 エ拠 臓 地災 地援 機 訪
浜松赤十字病院	エ拠 地災 地援 機 訪 包
伊豆赤十字病院	介医 看多 訪 包 療
裾野赤十字病院	訪 包
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	救命 エ拠 臓 地が 総周 地災 地援 機 緩
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	救命 エ拠 臓 地が 総周 地災 地援 一感 機

近畿地方

伊勢赤十字病院	救命 エ拠 臓 地が 地周 地災 地援 一感 二感 へ医 機 緩
大津赤十字病院	高救 小児 エ拠 臓 地が 総周 基災 地援 原 機
大津赤十字志賀病院	エ協 包 療
長浜赤十字病院	救命 エ協 臓 地周 地災 地援 二感 原 機 訪
京都第一赤十字病院	救命 エ拠 臓 地が 総周 基災 地援 機 緩
京都第二赤十字病院	高救 臓 地が 地周 地援 機
舞鶴赤十字病院	原 訪 包 回
大阪赤十字病院	救命 臓 地が 地周 地災 地援 機 緩
高槻赤十字病院	地援 二感 機 訪 緩
姫路赤十字病院	エ協 臓 地が 総周 地災 地援 二感 機 訪
多可赤十字病院	老健 介医 訪 包
神戸赤十字病院	高救 臓 基災 地援 機
日本赤十字社和歌山医療センター	高救 エ拠 臓 地が 地周 地災 地援 一感 二感 機 緩

中国・四国地方

鳥取赤十字病院	エ協 臓 地災 地援 原 へ医 機 包
松江赤十字病院	救命 エ拠 臓 地が 地周 地災 地援 一感 へ医 原 機
益田赤十字病院	エ拠 地周 地災 地援 二感 へ医 機
岡山赤十字病院	救命 エ拠 臓 地が 地周 基災 地援 へ医 機 緩
岡山赤十字玉野病院	老健 包 療
広島赤十字・原爆病院	エ協 地が 地災 地援 機 訪 緩
庄原赤十字病院	エ協 地災 二感 へ医 機 訪 包 療
三原赤十字病院	エ協 地災 機 訪 包
山口赤十字病院	小児 地周 地災 地援 機 訪 緩
小野田赤十字病院	介医 訪 包
徳島赤十字病院	高救 小児 臓 地が 地周 地災 地援 へ医 機
高松赤十字病院	エ拠 臓 地が 地周 地災 地援 へ医 機
松山赤十字病院	エ拠 臓 地が 地周 地災 地援 二感 原 機
高知赤十字病院	救命 臓 地災 地援 機

九州地方

福岡赤十字病院	エ協 臓 地が 地災 地援 二感 へ医 機
今津赤十字病院	訪 包 療
嘉麻赤十字病院	訪 地包 包
唐津赤十字病院	救命 エ協 臓 地が 地災 地援 二感 原 機
日本赤十字社長崎原爆病院	エ協 地が 地災 地援 原 機 訪 包 緩
日本赤十字社長崎原爆諫早病院	二感 訪 包
熊本赤十字病院	救命 小児 臓 地が 地周 基災 地援 機
日本赤十字社熊本健康管理センター	予防医療
大分赤十字病院	エ協 臓 地が 地災 地援 二感 機 訪 包
鹿児島赤十字病院	エ協 地災 へ医 原 包
沖縄赤十字病院	地災 へ医 地周 地援 機 包 緩